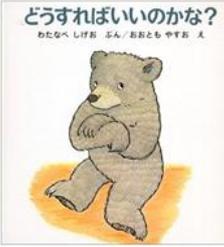


1歳児クラス 9月 第3回 「どうすればいいのかな？」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「こんにちはー」ペープサートのクマで登場。「これから外に遊びに行くの」と講師と会話。洋服を着ていないことに気付かせる。 講:「クマさん、お洋服着てからお出掛けしてね。頑張ってるね」と見送り、「クマさん、お洋服上手に着れるかな?ちょっと覗いてみましょうね」とお話に入る。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート(くま・くま用備品) 	保育士の役割	
読み方	①子どもの声を大切に生活指導も行いながら読み進める。 ②シャツ、パンツ…具体物の名前や、その用途、着用の仕方、「着る」「履く」「被る」のことばを理解できるように伝え、一緒に声を出して読み進める。 ③シャツをお尻に履くなどの間違い行動に対して「どうすればいいのかな?」と講師は子ども達に問い掛け正しい方法を子ども達から引き出しながら読み進めていく。またその時ペープサートのクマとシャツ・パンツ・帽子などの部品カードを使って、子ども達に身に付けさせるのも良い。	保育士の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> ペープサートのクマを持って登場。 子どもと一緒にストーリーや会話を楽しむ 		

がくしゅうタイム

活動①	生活	洋服カードをクマのふさわしい場所に貼ることができる	
設問	クマさんに、シャツ・パンツ・帽子を身に付けてあげましょう		
活動内容	講:「クマさん、頑張ってたね。みんなも自分で洋服を着れるかな?」 保:「ハックション」と言いながらクマプリントを持って登場。 講:「あれ?クマさん、また裸んぼ。風邪ひいちゃうよ。洋服はないかな?」 保:「いらっしやいませ。素敵な洋服はいかがですか?」と洋服提示。 講:「丁度良かった。洋服ください」 保:「今日はおはじき2個と交換です」とおはじきを皿に入れて提示。 数にイレイジ」講:「先生もやってみるね。みんなも一緒に数えてね」と見本提示。「いち・に」右手、左手それぞれ1つつおはじきを取り「全部で2」と両手のおはじきを見せる。「洋服をください」と意思表示をして交換する。	教材 P1 P1用洋服カード3種(帽子・シャツ・パンツ 弱両面テープ付)1人1セット ※カードは1人ずつ皿に入れて準備しておく おはじき 皿(テーブルゴミ用・おはじき用)	
	子ども達と洋服1つ1つの名称再確認後、子ども達のことばを引き出し正しい位置を確認し、間違い行動も入れながら洋服カードを貼る見本を見せる(テーブルのゴミは皿の中) 保:「まだこんなにたくさん…」と配布プリント提示。 講:「みんなもクマさんに着させてあげられるかな」と子ども達の意欲を引出しプリントを配布する。 子:見本同様におはじき「2個」取り洋服と交換し、クマプリントに貼っていく。 ※弱両面テープは取ったり貼ったりを繰り返すと、剥がれやすくなるので注意! 講保:まずは子ども達の貼る様子を見守る。クマの身体のだいたい正しい位置に貼れていればよしとする。但し、パンツとシャツが逆だったり、帽子が足の位置にあるなど明らかに位置が理解できていない子には、「着るもの」「履くもの」「被るもの」のことばを添えて一緒に貼り直す(この時も無理強いはいしない) 講:全員で着れたことを確認、称賛。完成したプリントを持って「お散歩行こうか♪」とリズムに合わせてお散歩を楽しむ。最後は「クマさん公園行くんだったって、またね」とプリントを回収し活動②へ進む。	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> プリント持って登場 配布プリント提示配布 おはじきと交換に洋服配布 子どもの理解度に合わせてフォロー 称賛 エレビ演奏 プリント回収 	
活動②	描く	リズムに合わせて楽しくクレヨンを動かし描くことができる。	
設問	クマさんと一緒に楽しく遊びましょう。		

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保:「先生!クマさんこんなところで遊んでる」とプリントを持って楽しそうに登場。 講:プリントを受け取り、描かれた場面(砂場)を見て「ここはどこかな?」と子ども達と会話。「クマさん1人で寂しそう。一緒に遊ぼう!」とクレヨン提示。「お山作ろう!ゴシゴシ♪ゴシゴシ♪」「次はお水流そう!ザー♪ザー♪」等、スタート・ストップを入れながら、リズムに合わせて、楽し描く見本を見せる。興味を持たところで「みんなも遊びたい?」と活動に引き込む。 保:「一緒に遊ぼう!」とプリント・クレヨン配布。 子:いつもの様にクレヨンを準備し、講師と一緒にクレヨンの持ち方、紙の押さえ方を確認してから始める。 講:子ども達の様子を見て、途中余裕があれば、それぞれ自由に描かせても良い。最後「そろそろクマさん帰らないと。楽しかったね、またねー」と称賛し、プリントを回収して終了する。 	教材 P2 クレヨン
		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> プリント持って登場 エレピ演奏 プリント、クレヨン配布 クレヨンの握り方、紙の押さえ方確認 称賛 プリント回収

数チャレ	数	多数の中からおはじきを「2個」取る	教材
設問	おはじきを「2個」取って洋服と交換しましょう		
活動内容	※今回は<活動①>の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達と一緒に考えながら読み進めたか
活動① 生活	正しい位置に貼る見本行動を行ったか
活動② 描く	クレヨンの活動を楽しく行う工夫が出来たか
数チャレ	活動①に含む

楽習タイム♪

*** テーマ・生活 ***

どうすればいいのかな?

- 生活の中で繰り返し習慣となっている行動に対して「〇〇しましょう」という指示のことはから少しずつ「どうすればいいのかな?」という問いかけに変えて、子どもたちに考えさせ行動に移して行くようにしましょう。

※例:お散歩行く前の準備・眠る前の準備・食事やおやつの前後の手洗いや歯磨き・遊んだ後のおもちゃの片づけ等



自分から気付いた時にはたくさん褒めてあげましょう!

今月のえかきリズム

*** かきごおり ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

